

三 次

百人一首の撰歌について（続）

島田 良一 1

「畠田良二教授御退任記念論文」全四篇

- 〔伊勢物語〕 成立私考——流动するみやびのテクスト
訓点資料の訓読文について 森鷗外と山縣有朋——明治の終焉まで
昭和十九年十一月の日記作者達

〔漢文語訳=記憶術〕緒 再検証	古田島洋介	井上 英明
〔翻刻〕陽明文庫藏三十六人集(21・2)の本文について	島田 良二	柴田 雅生
“Gemacht oder geworden?”——Überlegungen zur japanischen Kultur, Geschichte und Gesellschaft (日本の文化・社会にねかへ〈やく〉) 田中 敏	佐佐木茂美	小堀桂一郎
Artus “as fenestres” et son départ “parmi la mer” (窓辺のトルトゥス) 『海の中』(くの玉藻)	214 (9)	和田 正美
又煙灰歎化鉛筆走説(上)	方 惠洲	73 53 37 11
Fear of Japan: The Formation of Japanese Invasion Novels in Australian Literature (日本の脅威——ホーブルト文学による侵略小説)	加藤めぐみ	
Another Fin de Siècle——The Boxer Uprising and a Discourse on Civilization in Japan—— (アーチーの半島末——北清事変と日本の文明論——)	190 (33)	
The Early Poems of Seamus Heaney (セamusヘンリーの初期の詩——)	牛村 圭	204 (19)
(十)を据——ハーマスク・ユーリー——初期の詩——	深澤 清	180 (43)
戦後日本における民間教育運動の方向——民教協の流れを受け継ぐ雑誌を中心に——	菱山覚一郎	168 (55)
〔翻訳〕グベタフ・マー・マー	丸山 正義(訳)	158 (65)
〔書評〕“われわれ日本人” 研究成果及び活動一覧 (平成九年一月～十一月)	アルノ・バルツィ 山下 善明(訳)	148 (75)
		138 (85)
		120 (103)